

茨大『キャリア@通信』

茨城大学学生サクセスセンター
vol.003



- コラム『東京は本当に稼げる街なのか？』
～地元で働いて、地元で生活する！ワークライフバランス～
- 留学生就職支援コンソーシアム SUCCESS
～日本での就職を目指す外国人留学生を支援しています～
- 実際に見てみよう！
～企業訪問バスツアー 笠間エリア&つくばエリア～
- information
大学主催『合同企業研究会・説明会』
研究会 126 社、説明会 67 社が参加
ひたちなか市と連携『合同企業説明会』
『地元企業に出会える』対面ブース形式で 20 社が参加！



<Voice①> 『好きなことをやる、やればやるほど、やることを好きになる…!』

一般社団法人留学生みらいセンター 黄 磊さん (2012年 人文学部卒)

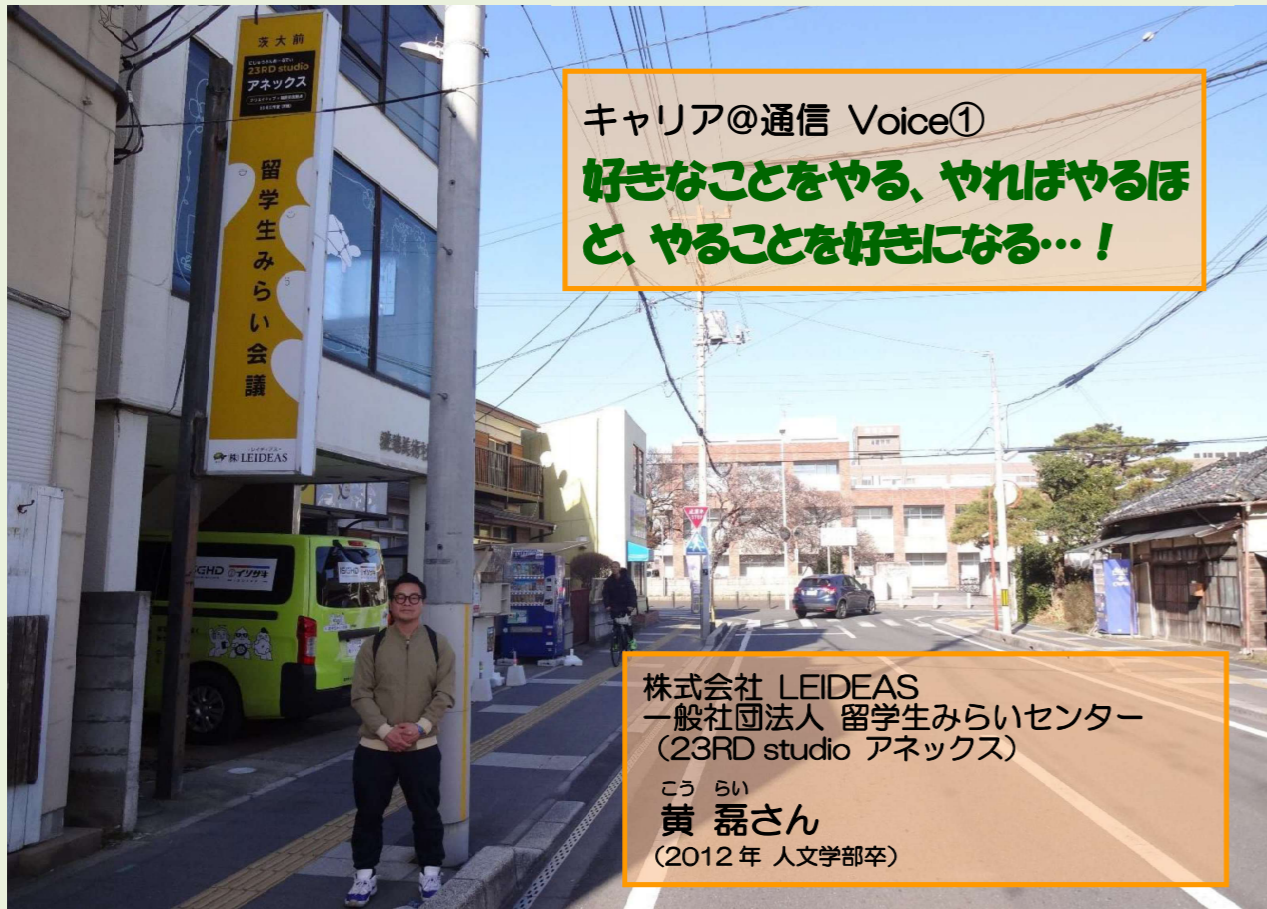
<Voice②> 『生徒たちの、ちょっとした変化に気づけるように…!』

学校法人大成学園 大成女子高等学校 大高 優依さん (2023年 教育学部卒)

武藤 和英さん (2007年 教育学部卒、2009年 教育学研究科修了)

<Voice③> 『人と人とのつながりが、仕事でとっても重要です!』

株式会社常陽銀行 小瀬 龍志さん (2015年 工学部卒)



キャリア@通信 Voice①
好きなことをやる、やればやるほど、やることを好きになる…!

株式会社 LEIDEAS
 一般社団法人 留学生みらいセンター
 (23RD studio アネックス)
 こうらい
黄 磊さん
 (2012年 人文学部卒)

「留学生が活躍できる場」をつくりたい! という思いがあります。

●現在どのようなお仕事をされていますか。
 留学生のキャリア支援事業を中心に仕事をしています。日本企業の海外ビジネスサポートや自治体のインバウンド関係のコンサルタントもやっています。「留学生が活躍できる場をつくりたい」が自分の思いとしてあります。自分も留学生だった頃、住むところや食事、言葉や文化の壁があって、やっぱりホームシックになりました。先輩に話が聞ける地域のコミュニティーが大切だと感じました。安心できる場所と地域とのつながりです。

●学生の頃から留学生の支援活動を始めていたのですか。
 学生の時に外国人留学生支援会というサークルを作りました。大学に近い武道館そばの空き家を借りました。会員には留学生も日本人学生もいました。大学内の活動にとどまらず、地域に出て「情報マップ」を作りましたね。お母さんみたいに母国の味を楽しめるお店の情報や、母国語で話せるしゃべれる情報をまとめました。その経験が今につながっています。

地方だと英語表記が少ないです。留学生が日本社会に馴染んでいく努力が必要だと思います。そして受入れ環境の部分で行政や企業努力も大切だと思います。日本の人

が当たり前と思っていること、治安が良いことや、お水が飲めることに改めて気づくことが多いです。自分の子どもにとって、日本の教育環境が安心安全だと感じています。でも茨城は夜の街灯が少し暗いですね。

地域でも、「一緒にどうする?」と町内会や商店会と活動します!

●「茨城×外国人材」ビジネスのひらめきを見つける、伝える…メッセージを見ました。
 LI (エルアイ) という情報誌を発信しています。留学生が茨城に来て、生活が充実して、将来も活躍できる環境をつくりたい! という活動をしました。やればやるほど、やることを好きになっていきます。地域でも「一緒にどうする」と町内会とか商店会と活動し



水戸市保和苑にある23RDstudioが活動の本拠地。イベントやセミナー開催も。



自分も学生の頃は、やっぱり社会になかなか踏み出せなかったと話す黄磊さん。

ます。外国人を中小企業が採用するとき、社長は受け入れる気持ちが強くても、現場での意思疎通ができていないことが多くあります。安い労働力や出稼ぎと見るのではなく、外国人が能力を発揮できる仕事と大切だと思います。これからの企業の課題と考えてもらいたい。そのための情報を「みらい会議」で発信しています。

●水戸キャンパス正門近くのアネックスでは何をやっているのですか。
 23RDstudio アネックスは、大学に近いので、この場所を通じて、地域との接続ができる拠点にしたいです。一般社団法人留学生みらいセンターは非営利組織として幅広く、生活面の相談からキャリア支援まで、よろず支援を考えています。まずは…ここで世

界のカップ麺を食べる交流会をしたいですね。23RDstudio は大学から少し離れた保和苑にあるので、大学に近いアネックスの役割を期待しています。学生の皆さんに気軽に立ち寄ってもらいたいですね。

学生の頃、「地方にも良い就職先がある!」と気づきました。

●キャリア支援について、留学生の活躍をどのようにサポートしているのですか。
 留学生は東京や大阪などの大都市に就職する人が多いです。そこに求人情報が多くあるからです。しかし、地方にも良い企業がたくさんあります。私は学生の頃「東京だけではなくて、地方にも良い就職先がある!」と気づきました。東京の大企業は良い面も多いですが、自分のキャリアを築くのに長い年月がかかります。地方の中小企業の場合、色々な仕事を任せられ、海外事業展開や仕事のキーマンを短い期間で経験できます。



23RDstudio から保和苑の仁王門が近くに見えます。地域と接続する拠点です。

もちろん各企業や留学生ひとり一人の相性や性格もあるから一概には言えませんが、すぐに辞めるのではなく、キャリアを継続して成功する好事例も多いです。地域で活躍できるチャンスが多いと感じています。地方企業の本社で経験を積んで、その会社の海外支社長を任された私の先輩留学生もいます。



未来に向かって「一緒に考える場所」、化学反応やシナジーができること嬉しい!

茨大の留学生同窓会も活動! 縦のつながいと横のネットワーク

●休日どのように過ごされるのですか。
 家族は妻と二人の娘がいます。平日は朝の7時頃に家を出て、夜の10時頃まで仕事をしていることが多く、ワークライフバランスは少しできていないですね。反省点です。バスケットボールをする子供の送迎をして、また仕事に戻ったりします。休日は家族と買い物に行きます。

●留学生同窓会の役員もされていますか。
 茨城大学の留学生卒業生 OBOG の同窓会会長に就任しました。思いや熱意を何らかの形にしたいです。年代の、縦のつながりと横のネットワークの両方があれば良いと感じています。

海外に行かずに海外を知る機会。学び合い! 刺激的なことです。

●茨大生の後輩に何かメッセージをお願いします。
 留学生との交流を日本の学生にも深めてもらいたいです。海外に行かずに海外のことを知る機会になると思います。大学全体の雰囲気が多文化・国際的になって、茨城大学で学びたい! という日本の学生や外国人留学生が増えて「学び合い」ができます。とても刺激的なことだと思います。

留学生にも日本の学生にも、もっとお互い「喋りかけて」ほしいです。話しかけやすい大学だと良いですね。
 私は学生の時、大学主催の旅行で隣の学生に声をかけてもらって、とても安心できました。とても感謝しています。今でも連絡をとる友人です。

●本日は有り難うございました。
 取材・インタビュー
 新海玲奈、波房恵陽

コラム

『東京は本当に稼げる街なのか?』

～地元で働いて、地元で生活する! ワークライフバランス～

このコラムではキャリア論のご紹介をしています。今回は少し異なる視点から「東京で働くこと」を考えてみます。

1. 可処分所得(税金や社会保険料等を除いた実質に使えるお金)は東京が第1位です。やはり…給与が高いですね。
2. 次に、食費や水道光熱費、家賃を考慮した実質所得を見ると、東京は第20位と都道府県の中で平均的な街となります。やはり家賃が高いです。家賃の安い郊外は通勤時間がかかります。
3. さらに、この通勤時間の損失を金額にすると、東京は44位になります。(ひとり暮らしの場合は全国30位)茨城県は実質使えるお金の第2位です。

可処分所得ランキング ※2人以上世帯 上位10県(所得多い)

1位	東京	490,924円
2位	茨城	478,213円
3位	富山	468,332円
4位	埼玉	463,656円
5位	岩手	462,837円
6位	京都	462,678円
7位	千葉	461,161円
8位	神奈川	460,382円
9位	長野	450,173円
10位	鳥取	449,513円

東京の諸生活費 ※2人以上世帯

可処分所得	490,924円/月	1位
食費	85,199円/月	1位
水道光熱費	17,945円/月	45位
家賃	113,871円/月	1位
通勤損失	58,142円/月	1位
実質所得	215,767円/月	44位

皆さんは、どのように働き、どのように生活したいですか?



参照: 地理の雑学ゆっくり解説 <https://www.youtube.com/watch?v=TCuU1OFOLV&t=553>

実質使えるお金ランキング (通勤損失込み) ※2人以上世帯

上位10県(使えるお金多い)	下位10県(使えるお金少ない)
1位 岩手 288,045円	38位 愛知 222,792円
2位 茨城 288,021円	39位 兵庫 220,692円
3位 鳥取 284,718円	40位 宮城 219,831円
4位 長崎 281,582円	41位 群馬 219,612円
5位 富山 278,191円	42位 北海道 219,451円
6位 栃木 270,344円	43位 宮崎 219,309円
7位 長野 268,897円	44位 東京 215,767円
8位 福井 267,700円	45位 大阪 211,894円
9位 香川 266,016円	46位 神奈川 205,786円
10位 新潟 263,636円	47位 沖縄 161,070円
全国平均243,834円(円/月)	



キャリア@通信 Voice②

生徒たちの、ちょっとした変化に気づけるように...!

学校法人大成学園
大成女子高等学校 教諭

むとう かずひで

武藤 和英さん

(2007年 教育学部卒)

(2009年 教育学研究科修了)

学校法人大成学園
大成女子高等学校 教諭

おおたか ゆい

大高 優依さん

(2023年 教育学部卒)

学生の皆さんが、今までの人生で一番見てきた職業だと思えます。

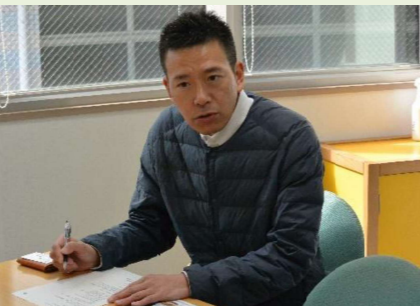
●現在どのようなお仕事をされていますか。
大高：主な仕事は、授業と担任業務です。学生の皆さんが今までの人生で一番見てきた職業だと思えます。基本的なイメージはだいたいその通りです。実際に働いてみると、授業準備や成績処理、行事の準備や事務的な仕事も意外と多いですね。
武藤：私も授業と担任業務です。それ以外にも校務分掌という役割や部署があります。私は入試広報を担当しています。生徒募集のため中学校を訪問して説明をします。私立高校としての魅力を伝えています。
大高：私の役割は教務です。先生たちの教育業務がより良くなるように準備をする仕事もしています。教えている授業は家庭科で

す。普通科と家政科で授業があります。被服系の科目を教えています。礼法(礼儀作法など)の授業もあります。
武藤：私は英語を教えています。「読む・書く・話す・聴く」をバランス良く、ペアワークやスピーキングやグループワークをします。海外講師とのオンライン英会話も取り入れています。英語が苦手な生徒もいますが、楽しんで学んでいる生徒が多いですね。
●部活動も受け持たれるのですか。
大高：CHE部(Challenge Home Economics)という部活動で、外部の先生を招いて生徒たちと着物や浴衣を着る活動をしています。チャレンジのCで、色々文化的な活動をします。でも…私は着物の着付けは十分にはできないんですね。
武藤：サッカー部の副顧問です。女子サッカー部です。今部員はぎりぎり11人。体を動かすスポーツ部活に入りたい生徒さん募集中です。

先生に会いに、卒業生もよく顔を出しに来てくれます。

●公立高校と私立高校の動き方に違いはあるのでしょうか。
大高：就職で私が私立高校を選んだ理由でもあります「異動」が無いことです。先生が母校にいるので卒業生もよく顔を出しに来てくれます。

武藤：入試広報でもお話するのですが、建学の精神や理念が各高校にあります。本校は「多様化する現代社会を自分らしく生きる



入試広報やキャリア教育も担当される武藤先生。女性の育成・教育を担当しています。

女性の育成「地域社会と協働できる自立した女性の育成」という2つのミッションがあります。

普通は、5時過ぎに帰ります。7時には職員室も閉まります。

●何時ごろに仕事を終えて帰宅するのですか。やはり忙しいのですか。
大高：私は普通、5時過ぎには帰宅します。部活動があるときは6時頃になります。
武藤：学校全体で閉めるのが早いんですね。基本的に7時頃にはもう職員室を閉める形です。部活大会の重要な時や学校行事は柔軟



「生徒たちのちょっとした変化に気づけるように…」と、仕事を話す大高先生

に対応しています。体育祭のスポーツフェスティバルや文化祭は大掛かりです。準備も大変ですね。近くの小学生や幼稚園児も招待しています。地域とも一緒に活動する地域の学校です。

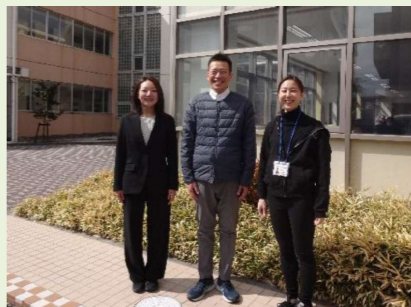
ちょうどコロナ禍でした。アルバイトの経験が今につながっています。

●学生の頃はどんな大学生でしたか。先生になろうと、いつ考えたのですか。
武藤：私は途中1年間休学して「留学」に行きました。「外国を見てみたい!」と思って語学留学とワーキングホリデーです。何かその…熱い思いを持っていました。現地でボランティア活動もしました。英語が母国語ではない人に教えるためのTESOL資格を取る勉強をしました。
大高：私は何も無い?学生生活でした。ちょうどコロナ禍でした。でも中型バイク免許を取りに行きました。乗っていませんけど。スポーツ用品店でアルバイトをしていました。お客様に撥水スプレーをお勧めした経験が、被服を学ぶゼミ選択と「その服の汚れにどう影響を与えるか」の卒業論文につながりました。そして、家政科がある学校で働きたいと思いました。

ライフステージと自分の仕事を考える機会が何度も訪れます!

●武藤先生はキャリア教育もご担当されていますね。

武藤：はい。本校では、女性のライフコースを考えたキャリアデザインプログラムがあ



ちょうど通りかかった菅沼ひとみ先生(写真右)も茨城大学の卒業生です。

ります。女性にはライフステージと自分の仕事を考える機会が何度も訪れます。同時に、生き方を選ぶチャンスが多いと考えることもできます。地域社会とのつながり、重視したプログラムです。人とつながり、自分の未来にもつながる学びです。地域デザインでは市町村や企業の方々と協働して「課題」を若者の視点から見て解決する活動をしています。

●大高先生は被服の科目をご担当されていますね。

大高：教育学部のゼミで被服を学びましたが、むしろ働きはじめてからの方が勉強しています。どの仕事もそうだと思います。学校の先生だけの話ではないと思います。自

分が担当することを、もう一回勉強してやっています。家政科では被服製作技術検定合格を目指して、1年生は手縫いの基本、2年生でハーフパンツ、2年生から3年生にかけてシャツブラウス、最後にジャケットをつくります。私は学生の頃、浴衣とハーフパンツしか縫っていませんでした。

小さな勇気。最初の一步を踏み出してみてください!

●茨大生の後輩に何かメッセージをお願いします。
大高：実は強い意思を持って教員を目指した訳ではありませんでした。教育学部にいた普通の学生でした。実際に働いてみて、すごく楽しくて、今の生活に満足しているんです。あの時、自分は何になりたいのか、どういう自分でありたいのかをもっとよく、ゆっくり考えてみたらよかったと思っています。家政科の学びの目標にも「人生について考える」があります。
武藤：茨大はのびのびしている事が良いです。居心地良く。だから自分の殻を破って外に出てみると良いです。見える世界が広がります。小さな勇気です。最初の一步を踏み出してみてください。

●本日は有り難うございました。

取材・インタビュー
小沼優美花、波房恵陽



留学生就職支援コンソーシアム SUCCESS



SUCCESSは日本での就職を目指す外国人留学生の支援を行っている組織です。企業に内定することだけではなく、日本社会で長期的に活躍できることを目指した支援をしています。茨城大学の留学生はセミナー等の利用が可能です!



<https://www.success1.jp/>



茨城大学は SUCCESS の会員大学です!



<SUCCESS が提供するセミナー等>

- ・就職支援集中講座
- ・SDGs ビジネスプランニング講座
- ・ビジネス日本語 (BJT) セミナー
- ・オリジナルインターンシップ
- ・Future Design Project

キャリア@通信 Voice③
人と人とのつながりが、
仕事でとっても重要です！

株式会社常陽銀行
経営企画部 DX 戦略室
おせ りゅうじ
小瀬 龍志さん
(2015年 工学部卒)



「AI」によって銀行業務がどのように
変革できるか検証しています。

●現在どのようなお仕事をされていますか。
経営企画部 DX 戦略室に所属しています。
ChatGPT や Gemini に代表される生成 AI を銀行実務へいかに実装し、抜本的な業務効率化と顧客価値の向上を両立させるか、そのための技術検証と具体的な導入戦略の立案が私のミッションです。営業現場とは異なる本部ならではの中期長期的な視点を持ち、最新テクノロジーと伝統的な金融ビジネスを掛け合わせることで、既存の枠組みを超えた新たな価値創造を追求しています。

●はじめから DX 戦略のお仕事をご担当されているのですか。
2015年に新卒で入行した後、茨城県・埼玉県・福島県の3支店で、融資や資産運用と



3つの営業店で経験した業務が、今の仕事にとっても活かされていると話す小瀬さん。

いった銀行業務全般を現場で経験しました。工学部出身というバックグラウンドを持っていたため、製造業の経営者様と技術的なお話で意気投合し、深い信頼関係を築けたことは現場での大きな財産です。

その後、メガバンクへ1年間出向し、銀行でのデジタル戦略を学ぶ機会を得ました。

現在担当している業務は、単に新しい技術を導入して終わるものではなく、『それを現場やお客様のためにどう活用するか』が問われるエキサイティングな仕事です。営業店で培ったお客様に寄り添う『現場の視点』と、メガバンクで得た最先端の『デジタルの知見』。この両輪があるからこそ、単なるシステム化に留まらない、地に足の着いたDX戦略を推進できると考えています。

「AI」は、人が人にしかできない役割に
専念するためのパートナーです。

●これからはAIが仕事をする時代になるのでしょうか。どのように導入するのですか。
AIが人の仕事を奪うことはありません。むしろ、人が人にしかできない役割に専念するためのパートナーです。AI導入の目的は、徹底した効率化によって時間を創出し、お客様と直接向き合い、信頼を深める時間を最大化することに他なりません。現場視点を大切にしながら、社内業務の効率化を進めています。

●デジタル化のお仕事は、パソコンに向かう
仕事なのですか。

DXの業務はPCに向き合うだけではありません。大半が他部門を巻き込むプロジェクトであり、中には数年がかりの大型案件も珍しくありません。無機質に見えるデジタル化の過程にこそ、部門を越えた密な対



水戸市南町にある常陽銀行本店。水戸駅が大学までのバスもこの前を通ります。

話と協調が不可欠です。高度な技術も、血の通った対話無しには機能しません。真の変革は、対話で築く「強固な信頼関係」の先にこそある。そう日々実感しています。

4年間のバイトと多忙な演習をやり
遂げた、真面目？な学生でした。

●どんな学生生活でしたか。
生協学生委員会(GI)に所属し、季節ご

との企画立案や新入生歓迎行事、事務局運営から手書きのPOP作りまで、多岐にわたる活動に明け暮れました。今振り返っても青春の思い出ばかりです。工学部は2年次から日立キャンパスへ移るため、慣れ親しんだ水戸エリアを離れる寂しさもありましたが、それも良い節目となりました。

アルバイトは「今でしょ！」でお馴染みの予備校で4年間働き、担任助手として進路面談で生徒の悩みに真摯に寄り添ったり、物理や数学の質問対応に追われたりする充実した日々でした。一方で工学部の演習もハードで、夜な夜な友人と集まってはプログラミング演習の課題とひたすら格闘していました。我ながら「けっこう真面目な学生だったのでは？」と思っています。

銀行＝堅い、は昔の話。柔軟な環境で自分らしく働いています。

●銀行のイメージが少し変わりました。働き方も昔と変わったのですか。
昔と比べて大きく変わったと思います。特にワークライフバランスを大切にする意識は格段に進みました。家庭と仕事の両立支援制度がしっかり整備され、服装もスーツにネクタイではなく、今はビジネスカジュアルが主流です。在宅勤務やフレックスタイム制度も当たり前で活用されています。決して規律が緩んだわけではなく、より質の高い仕事をするために、働きやすい環境づくりが重視されるようになりました。

理系だからこそ、あえて銀行へ。
活躍できる場がたくさんあります。

●この仕事を選んだ理由を教えてください。
「銀行は文系の仕事」というイメージが強いかもしれませんが、私は「変化の激しい金融業界こそ、理系の思考や知見が活きるはずだ」と考えこの職業を選びました。現在はその仮説通り、AI技術で伝統的な銀行業務を変革する部署にいます。私たちのミッションは、資金面で地域を支えるだけでなく、最新技術で新たな価値を創り出す挑戦をし続けることです。理系の強みを武器に金融の未来を切り拓き、地域社会全体をアップデートしていく、そんな今の仕事に大きなやりがいを感じています。自分のバックグラウンドを最大限に活かし、これからも地域の発展に貢献し続けたいです。



人事部の櫻田さん(写真右)に小瀬さんをご紹介いただきました。同期入行とのこと。

●地域に貢献できる仕事なのですね。
地域の挑戦を支え、未来への価値を形にする。それが銀行員の醍醐味です。お客様一人ひとりの課題に向き合い、その成長を間近で実感できるこの仕事に、大きな誇りを持ってしています。就活当時の選択に間違いはなかったと、胸を張って言える毎日です。

広い視野で多様な可能性を追求し、
「納得できる未来」を切り拓こう！

●茨大生の後輩に何かメッセージをお願いします。
社会に出ると、学生時代の専攻を超えた多様な力が求められます。「自分はこの分野だから」と可能性を狭めず、広い視野で将来を探してください。私自身、既成概念にとらわれず道を選んだ結果、大学での学びを土台に挑戦し続ける今に大きな喜びを感じています。大学生活は、自分の進む道を見つけるための貴重な時間です。この時間を最大限に活用し、納得のいく未来を切り拓いてください。

●採用情報(人事部より)
IT・デジタル分野のスキルを活かせる「IT・デジタル枠*」を新設しております！文理問わず、お待ちしております！※初任配属先を本部部署とする枠組みです。

●本日は有り難うございました。
取材・インタビュー
新海玲奈、吉田優希、小沼優美花

実際に見てみよう！
企業訪問バスツアー

茨城県内の4社を2日間で訪問しました。茨大主催の合同企業説明会や業務説明会にもご参加いただいている企業や行政機関です。仕事をしている職場を実際に見てみると、求人票で見える会社案内とは異なり、イメージが膨らみます。

1日目は、笠間エリアの株式会社 MonotaRO、笠間市役所。2日目は、つくばエリアのオリエンタルモーター株式会社、関商事株式会社を見学しました。最先端の流通システム、行政の新しい取り組み、技術の開発拠点、生活を支える商社の仕事を考える機会になりました。

↑ 関商事：県内の総合商社として、エネルギーやライフ事業を展開

↑ 笠間市役所：市議会の会場は少し緊張しました。「動く市役所」を見学しました。

↑ MonotaRO：笠間ディストリビューションセンターでは最新の資材調達ネットワークを学びました。

↑ オリエンタルモーター：精密小型モーターや制御用電子回路等の開発・製造・販売。開発拠点を見学しました。

